

ふくしの森ステーションは“地域の何でも相談窓口”です。

- ・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
- ・地域福祉活動を支援します。また、ボランティア活動に関する相談にもお応えします。



日頃から悩んでいること、不安に感じていることがありましたらご連絡ください。また、地域のお困りごとの相談や、相談内容によっては適切な相談機関をご紹介しますこともできます。



美杉台地区の最新情報♪

【AED マップを美杉台地区に全戸配布】

「はんのうふくしの森プラン」推進市民会議のメンバーが、美杉台地区の自動体外式除細動器（AED）の設置場所と利用可能日時を調べてAEDマップを作成し、美杉台地区で全戸配布しました。必要な情報はスマートフォンからも調べることができます。

その功績が新井市長に伝わり表敬訪問を行なった様子が主要新聞社3社に掲載され、ローカルテレビでも放映されました。いざという時に人命を左右するAEDがどこにあるかを、あらかじめ知っていれば人命を救うことができます。

新井市長も、この取組が飯能市内全域に広がれば良いとおっしゃっていました。

【美杉台地区ふくしを話し合う会開催中】

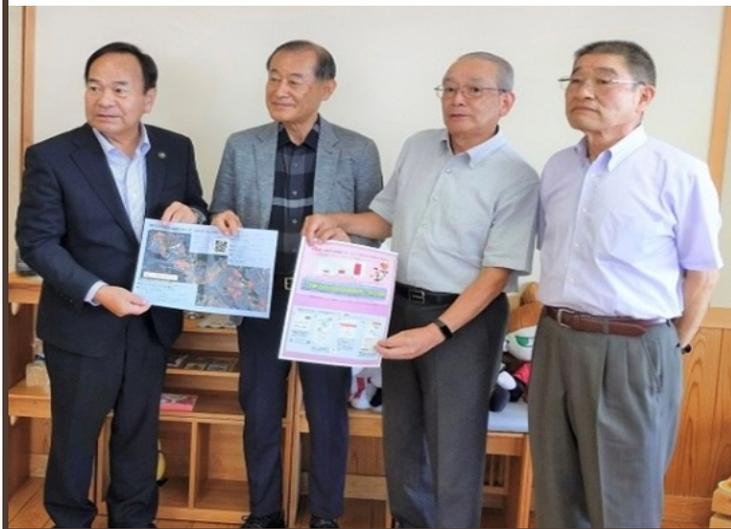
ふくしを話し合う会も10月で8回目となり、美杉台地区の課題やこれからの取組が具体化してきました。健康の悩みや子育ての悩みを話し合う“集いの場”があれば誰かに話を聞いてもらい地域の人が繋がることができます。

ふくしを話し合う会では、集いの場づくりやゴミ出しボランティアの取組・ラインを活用して情報共有することなどを検討しています。安心して暮らせる街づくり・子どもたちが地域愛を育める地域づくりのため話し合いを重ねています。



【美杉台小学校の福祉教育が始まりました】

10月17日（火）から美杉台小学校で福祉教育が始まりました。小学4年生を対象に「ふくしとは？」という導入の授業から始まり、障害者施設の施設長さんの授業・視覚障害のある方の授業・ボッチャ体験を行い、11月に振り返りの授業を行います。



社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 ふくしの森ステーションみすぎだいだい
(美杉台地区行政センター内)

原則 火～金曜日（祝祭日を除く） 9:15～16:15 在室

TEL 070-7792-2426 FAX 050-3156-2236

Eメール station-misugidai@hannosyakyo.or.jp

※担当者が不在の場合、電話は飯能市社会福祉協議会事務局（総合福祉センター内）へ転送されます。



地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

「テソロス・デ・ディオス」 名前の由来は?

「テソロス・デ・ディオス」は、スペイン語で「神様からの宝物」という意味です。

「障がいのある方や高齢者等、社会的に立場の弱い方たちは、神様からの宝物で社会の中で尊重されるべき」という思いが、NPO法人の由来です。

私は、退職まで県内の特別支援学校で働いておりましたが、その頃から子どもと社会を繋げる活動をしたと考えておりました。日本では学校を卒業すると学びの場がありません。昔、研修で行ったノルウェーなどの福祉先進国では、職場や作業の終わった後の時間に自分の好きなことを学べる場所があり、それに感動しました。そういう場を作りたいという思いで、今、この活動を行っています。

「楽しい週末を過ごしてほしい」



グループホームや施設等へ通っている方の週末の余暇の過ごし方を、有意義で楽しいものにしてもらいたいと思っています。個人の好みに応じたレクリエーションや季節のイベント、自然の中でのびのびと行う活動を企画中です。どんな方でもご参加いただけます。まずはご相談下さい。

問い合わせ：「NPO法人テソロス・デ・ディオス」

電話/070-4219-8338 (奥村)

メール/oku_hiro45@yahoo.co.jp

代表：奥村洋、ジャネット・チェンピタツ

【活動日】 毎週土曜日、日曜日10:00~16:00

【活動場所】 飯能市下赤工570-1 (法人事務所) ※駐車場あり、送迎あり (要相談)

NPO法人

テソロス・デ・ディオス

聞き手：CSW小林 (愛)



今回は、障がいのある子どもや若者を支援する、テソロス・デ・ディオス代表の奥村さんのお話を聞きました。



以下、奥村さんからのメッセージです。

週末活動の様子



第1・3土曜日は小学生、第2・4土曜日は成人の方を対象としたプログラムを行っています。

(例) ある日の小学生の午前中プログラム
テソロスに来る⇒歩いてお店に行く⇒自分で選んでおやつを買う⇒テソロスに歩いて帰る⇒おやつを食べる

これだけの事でも子どもたちの目は輝きます。自閉症や発達障がいのある子は、プログラム内容を事前に知らせ、活動をルーティン化させると安心します。一度やって楽しかったこと、満足したことはパターンを覚えてまた楽しもうとします。

参加者それぞれに合わせた活動を考慮しつつ、近所のお店などを積極的に利用することによって社会との繋がりを作ります。

日曜日はフリープログラムになります。

参加者のご家族のWさんのお話

「本人のペースに合わせてくれるので、居心地が良いようです。毎回楽しく通わせてもらっています。ありがとうございます。」



スタッフ大募集!

テソロス・デ・ディオスでは一緒に活動してくれるボランティアさんを募集しております。ご興味のある方はご連絡下さい。